

イルミネーション



冬の夜を演出すべくalaクルーズのイルミネーション実行委員会がまた立ち上がり

ました。さあ！今年もガンバロー!?!いざ集まってみると昨年にくらべ参加人数がなぜか極端に少ないのです。一抹の不安が…。でもそんなこと

言われてられない、輝くイルミネーションを楽しみにしている人がいるのです。9月20日の初顔合わせで何をしようか？何をテーマにしようか？よし『翼』にしよう！それはどんな形

に？色々アイデアが飛び交い、やっと制作段階に入ることができたのです。さいわい昨年の経験者も何人かいて割とスムーズに電球の取り付けも進めることができました。毎週日曜日の夜が制作日です。ワーワー言いながらもずいぶんそれなりの形も出来上がり、平日の昼にごく少人数で広場への取り付け。寒さにも負けず頑張りました。夜に仮点灯してまた修正です。やっと11月20日の点灯式を迎えることができました。今年が多文化共生の方達の点灯式です。3・2・1・ON！真っ暗だった広場がパーっと色あでやかになり、水面に映ったクルーズのイルミネーションも輝き、実行委員会メンバーの顔も輝きました。



寒いね

やった！！



クルーズコンサート



平成21年12月23日（祝日）午後2時、虹のホールにて『Xmasのときめき 歌う奏でるラブソディー』と題して

クルーズコンサートVol.6が開催されました。第一部は、リズムが踊る迫力の2マリimbaとピアノグループ「凜（りん）」の熱い演奏とエンターテナー性抜群のヴォーカルユニット「花華（はなはな）」の魅力的な女性ボーカルの歌声で、第二



部は、リズム感に優れ美しい響きを奏でる「turia μ（トゥリア ミュー）」によるヴァイオリン・フルート・ピアノのトリオアンサンブル

の魅惑的な演奏で、全17曲2時間半の間、来場者の皆さんを魅了しました。お友達とのひと時を楽しむために来られた方、クリスマスの時期にぴったりな内容で、生演奏を聴きたくてという方、マリimbaの演奏を楽しみに来られた方など様々な思いで皆さん来てくださいました。馴染みの曲やメドレーナンバーも多く取り入れられ、クリスマスコンサートにふさわしい華やかで欲張りなプログラムでした。ボーカルユニット「花華」と可児市の子どもたち11名とのコラボでは、かわいらしい歌声と踊りで雰囲気や和み、みなさんに手拍子もいただき会場がひとつになりました。参加した子どもたちも「緊張したけど、一緒に歌えてうれしかった」と満足そうでした。サプライズ企画として12月生まれの方に来場者に薔薇のプレゼントがあり、また、当日に一番近い誕生日の方にはturia μのコンサートチケットと♪ハッピーバースディ♪の歌が贈呈され感激された様子でした。最後には出演者全員での♪シングルベル♪の合唱で幕を閉じました。来場者の方から、「本当に有意義な時をすごさせていただき、感謝、感謝!!」の言葉が寄せられました。演奏者の皆さんや本日のコンサートの企画運営をしたalaクルーズのメンバーの「とにかく来場者の皆さんに喜んでいただきたい」という気持ちが感じられた心地よいコンサートでした。



turia μ

笹原直美



今泉香予子

大竹由夏



アガピエ・ドラゴス・クリスティアン



リハーサル前の打合せ



熱の入った企画会議



セッティング



ひとつの華やかな舞台の裏で一体どれくらいの人々が働いているのでしょうか。alaクルーズのクリスマスコンサートの舞台裏を覗くことが出来ました。打ち合わせ会議では実行委員がチケットの販売から、出演者との打ち合わせ、プログラムの作成、場内アナウンス、出演者の誘導、弁当の手配、サプライズ企画の薔薇の用意など本当に大変です。12月21日のリハーサル終了後、出演者とalaクルーズの総勢38人で交流会を行いました。出演者の皆さんに何うと、「可見市の皆さんと、音楽を通して楽しいひと時を過ごしたいと思います」という言葉が返ってきました。又、アーラの出演が初めての花華さんからは「会場がきれいでステージが広い。音響も良く、歌い易くてびっくりしました」と嬉しいコメントもいただきました。交流会に参加した舞台照明スタッフは「出演者が演奏しにくくないかと照明の角度等に気を使いながらスポットライトを当てるのですよ」と話してくれました。最後に恒例の集合写真を撮影し解散しましたが、まさに縁の下の力持ち！のチームワークに、コンサート当日がますます楽しみになる交流会でした。



子ども役でリハ

開演待ちのお客様



交流会



渡邊りこ

稲場薫

はい！パチリ



花華

加納三栄子

大塚宏美



加納里奈



凜



文化ボランティアコーディネーター養成講座 in 可児

平成22年1月23日(土)・24日(日)開催

alaクルーズが自立したNPO組織を目指す上で、今回アールで開催される文化ボランティアコーディネーター養成講座は、クルーズにとって絶好の機会だと思います。コーディネーター養成講座は、近年各地で開催されていますが、その中でも、こと文化の分野に的を絞った養成講座は少なく、JVCA(日本ボランティアコーディネーター協会)主催の第1回文化ボランティアコーディネーター養成講座が、当地アールで開催される事は意義が大きいと考えます。施設とボランティアが協働し運営されている、地方都市にあるアールに決定されたことは、外部の人たちから如何にアールが注目されているかという裏づけではないかと思います。このような背景のなかで、全国各地より多くの人たちをお迎えし、アールを見ていただくと共に、これがalaクルーズの活気に繋がることを願います。

〈alaクルーズの役割〉

- 参加者の受付
- 会場案内及びサポート
- 会場設営など
- 記録(写真撮影など)
- 近隣団体などへの開催告知(PR)活動のサポート
- 開催に向けての各種調査及びサポート
- その他、開催に必要なと思われることなどへの協力

今回は、絵画を観る楽しさを知っていただけるよう、
親しみやすい絵画を集めてみました。

心にひびくものたち第10回

平成22年1月13日～18日

10:00～17:00(土日は18:00)

日本古画

室町時代

泥絵

丹緑本

旗絵

奥村土牛

前田青邨

熊谷守一

芹沢銈介

川上澄生

荒川豊蔵

十王図

有馬屋敷

挿絵

金太郎

素描の梅

紅白梅

水墨画

ガラス絵

ガラス絵

梅の絵

主な出品物

絵

外国

ルオー

セカール

タピエス

ボードアン

アフリカ

インド

版画

木画

版画

絵

樹皮画

布画



進め! 日本ボランティア (25) ほんだのし alaクルーズ



編集後記

初詣 折りに触れ参詣したい神社のひとつに美濃市の大矢田神社があります。山の麓に厳かに佇む山門の仁王様。腕から胸板、踏ん張った足の先までが往年の猛々しさを偲ばせ、門の左右に阿吽と立ちはだかるのですが、寄木造りの四肢は今にも外れそうに朽ちています。その様がなんとも切なく痛々しく、なのになぜか頼もしく映ってしまうのです。そういえば、阿吽(あ・うん)…の言葉、近頃聞かれなくなりました。人間関係が希薄になったせいでしょうか。いいえ、alaクルーズの呼吸は、あ・うんと今年も健在です。(N)

alaクルーズ事務局 TEL/FAX: 0574-61-3414

<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>

Mail: ala-crews@kpac.or.jp